

有田川町議会広報
かわら版

平成 20 年 5 月発行

第 9 号

発行 有田川町議会
住所 和歌山県有田郡有田川町
大字下津野2018番地 4
郵便番号 643-0021
電話 0737-52-2111
FAX 0737-52-2198
<http://www.town.unkai.wakai.jp/profile/gkaiho.html>



「ありがとう」 生石小学校休校式

もくじ

平成 20 年度当初予算決まる	2 ~ 4
町長にもの申す(一般質問).....	5 ~ 16
3 常任委員会合同研修レポート等.....	17
編集後記.....	18

4000万円

地域交流センター 建築など まちづくりが中心

○平成20年度一般会計予算、歳出の内訳

項目	金額	内 訳
議会費	1億3,253万円	議会費全般
総務費	14億6,072万円	総務管理費、徴税費、戸籍住民基本台帳費、統計調査費など
民生費	30億2,869万円	社会福祉費、児童福祉費、生活保護費など
衛生費	12億6,820万円	保健衛生費、清掃費、上水道費
農林水産業費	16億0,172万円	農業費、林業費、水産業費
商工費	1億3,252万円	商工費
土木費	26億3,931万円	土木管理費、道路橋りょう費、都市計画費、下水道費など
消防費	6億2,999万円	消防費全般
教育費	11億9,071万円	教育総務費、小・中学校費、社会教育費、保嬰体育費
公債費	32億1,706万円	借入金返済
諸支出金	1億2,950万円	基金
予備費	900万円	その他予備
計	154億4,000万円	

平成20年第1回定例会は、3月7日から21日までの日程で開催されました。
本定例会には平成20年度当初予算、平成19年度補正予算、条例制定、工事請負契約などの議案が提案されそれぞれ審議し、すべて原案の通り可決されました。

一般会計予算質疑

- 質疑** 地域交流センターのソフト事業（イベント等）はどのような計画を予定なのか。また、教育委員会は地域交流センターへ移る計画なのか。
- 町長** 現在、ソフト事業は協議中である。合併協議会の中で決めたことなので教育委員会を勝手に移すことはできない。
- 質疑** 職員等から駐車場料金を徴収する機会は、
- 町長** 厳しい財政事情の中で負担をお願いする。
- 質疑** 第3保育所の開設時期は遅れることはないか。
- 町長** 平成22年開設予定。
- 質疑** 道路橋梁維持修繕費が昨年より少ないのはどうか。
- 町長** 昨年より少ないが、緊急に対応しなければならぬこともある。
- 質疑** 火災報知器の設置が進んでいない。促進させるために一定の基準で補助金制度を作ってはどうか。
- 町長** 設置しなければならぬ期限があり、いろいろな方法で期限内にできるようにしたい。
- 質疑** 地域審議会の回数を2回しか予定していないが、十分な審議時間をとっていただきたい。
- 町長** 基本的に定例会前に開くことになっている。
- 質疑** ふるさと開発公社の3年間の経営改善では、平成20年度は赤字予測をたてているが、施設別一覧表では赤字予測をしている。どう判断したらよいのか。
- 町長** いろいろな努力をしているが、赤字にするのは大変。しかし改善の努力をしていきたい。

平成20年度当初予算決まる!! 一般会計 154億

質疑 道路特定財源が3月末で切れる。今後どのように対応するのか。

町長 国会がうまくいかないとうしょうもない。56兆円の審議をもっとしていただきたい。町村会を通じて取り組んでいく。

質疑 ゲートボール場の駐車場として借りている民有地を町の都合で返すのはどうか。更地に戻してミカンなど植えてもすぐにお金にならない。誠意をもって対応していただきたい。

町長 一番大事なことはお借りした方のご了解をいただくことが大事。長くお借りしたことへの感謝の気持ちをもって対応したい。

国保特別会計予算質疑

質疑 国保税の引き上げは凍結を。葬祭費6万円を3万円に引き下げし

ないでほしい。健康診断の600円の徴収は検討してほしい。

町長 医療費の高騰、町の財政状況からみて無理だと思う。

公共下水道事業特別会計予算質疑

質疑 平成21年度から下水道事業がはじまるが、3年間でつなぐ計画が300軒しか見込めていない。当初から大きな赤字になるが、見直しはどうか。

町長 計画人口が甘いといわれれば仕方がないが、環境面や若い方が移り住んでいただくためにも重要な事業である。

かなや明恵観温泉

特別会計予算質疑

質疑 入浴料を100円値上げするが、歳入の入浴料の総合計額が増える見込みになっていない。入浴料を上げるとますま

す来館者が減る。来館者を増やす方策はどうか。

町長 いろいろな論議の結果、入浴料を100円値上げする。今後、身体障害者の方は値下げをする。入浴客の増加につながる提案をいただき検討したい。

使用料の徴収に関する一部改正について質疑

質疑 町内のスポーツ団体が施設を利用する場合、年間使用料を8千円とることになっているが、予定の団体数と団体への理解を得ているのか。

社会教育課長 100団体と見込んでいます。趣旨説明の話をしています。

議案関係

◎条例の制定改正など
・長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定
・観光振興基金条例の制

定（魅力ある観光振興を推進するため）
・藤並駅交流施設の設置及び管理に関する条例の制定（駅舎完成に伴う制定）
・後期高齢者医療に関する



地域交流センター水の公園イメージ図



副議長
中山 進
(71歳)



議長
橋爪 弘典
(74歳)

議長・副議長 就任あいさつ

このたび、3月定例会において、有田川町議会議長並びに副議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、責任の重さに、身の引き締まる思いであります。

町議会といたしましては、議会の活性化を図り、皆様方のご期待に応えるべく、執行機関と相協力して、有田川町の発展と、安心して暮らせるまちづくりを目指し、より一層の努力をしていく所存であります。

◎平成20年度おもな特別会計予算の内訳

項目	予算額
国民健康保険事業特別会計	38億9,069万円
老人保健事業特別会計	13億0,267万円
後期高齢者医療特別会計	6億4,974万円
介護保険事業特別会計	21億8,727万円
簡易水道事業特別会計	4億1,208万円
農業集落排水事業特別会計	2億8,615万円
公天下水道事業特別会計	15億1,237万円
かなや明恵峡温泉特別会計	1億3,047万円
水道事業会計	4億0,927万円

- ・条例の制定
- ・個人情報保護条例の一部改正
- ・課設置条例の一部改正
- ・職員の給与に関する条例の一部改正
- ・職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正
- ・町立学校に関する条例の一部改正（八幡小学校三田分校廃校に伴う改正）
- ・使用料の徴収に関する条例の一部改正
- ・体育施設条例の一部改正
- ・国民健康保険税条例の一部改正
- ・国民健康保険条例の一部改正
- ・重度心身障害児（者）医療費支給条例の一部改正
- ・老人医療費の支給に関する条例の一部改正
- ・乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正
- ・ひとり親家庭医療費の支給に関する条例の一部改正
- ・清水保健センター条例



- ・かなや明恵峡温泉条例の一部改正（使用料の一部変更に伴う改正）
- ◎和歌山県市町村非常勤職員公務災害補償組合規約の変更
- ◎財産の取得（修理川地区への移動通信用無線設備機器の購入）
- ◎辺地総合整備計画の変更（上湯川地区への移動通信用鉄塔の施設整備）
- ◎辺地総合整備計画の策定（町道有原沼田線改良工事）
- ◎道路線の廃止
- ◎道路線の認定
- ◎請負変更契約など
- ・金屋中学校地震補強・大規模改造（機械設備）工事の請負変更契約（空調設備増設）

- ・藤並駅橋上駅舎新設及び自由通路新設工事に伴う変更協定
- ・藤並駅乗降場延伸工事に関する変更協定
- ・地域交流センター建築工事の請負契約（4億8638万円）
- ◎人権擁護委員候補者の推薦 早田 博昭氏

*意見書の提出

道路特定財源の確保に関する意見書の提出

*陳情の審査

住民の暮らしを守り、安全・安心の公共サービス拡充の政府への意見書の提出を求める陳情

陳情者：和歌山県地方労働組合評議会

付託先：総務文教常任委員会

結果：継続審査



中山町長

町長にももの申す 一般質問



橋本教育長



中井下水道課長(当時)



中島産業課長

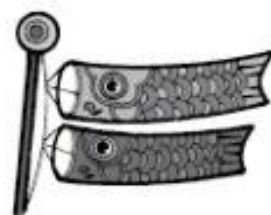


星田住民課長(当時)

こんなことが 取り上げられました

登壇順	質問議員氏名	質問事項
1	橋部 里計	<ul style="list-style-type: none"> ・岩野河地内の道路整備について ・長谷川地内の道路整備について ・妙見池(吉原)の西側の子どもの安全対策について
2	前勢 利夫	<ul style="list-style-type: none"> ・新町発足2周年経過を踏まえ、今後の町づくりを問う
3	森本 明	<ul style="list-style-type: none"> ・金屋庁舎を含めた中心市街地の町づくりについて ・結婚相談所の充実について ・菖蒲谷池の改修について
4	佐々木裕哲	<ul style="list-style-type: none"> ・定住人口増加対策について ・藤並駅特急利用者への仮駐車場の設置を ・今回のゴミ入札結果を振り返って
5	森谷 信哉	<ul style="list-style-type: none"> ・農業と観光について ・テレビ難視聴対策の進捗状況について
6	竹本 和泰	<ul style="list-style-type: none"> ・行財政運営について
7	浦 博善	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動の活性化を求める

8	尾上 武男	<ul style="list-style-type: none"> ・有田川の防災対策について ・原油高騰に対する緊急対策について ・営農給水施設の使用継続について
9	堀江真智子	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育について ・保育士の労働条件の改善について ・図書館、図書室の運営方針について
10	増谷 憲	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険制度と後期高齢者医療制度について ・道路特定財源問題について ・和歌山大学サテライトの誘致を ・契約について ・合併で決めた建設計画について
11	西 弘義	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のボランティア活動に対する関心は ・職員の新規採用は、地域バランスを取っているのか



岩野河・長谷川地内の道路整備は 妙見池(吉原地内)における子どもへの 安全対策は



楠 部 重 計

岩野河地内の 道路整備は

質問 町道向谷線にかぶさっている雑木・雑草の手入れについて、町の予算化を求める。

町長 指摘の通り自動車の通行に支障がある所や、山間部の雑草除去などの手入れができていない所もある。今後は区長さんや土地所有者との協議をおこない、できる範囲の対応を考えていく。

岩野河ハイパスの 進捗は

質問 平成 19 年度で予算化された用地取得について、どこまで進んでいるのか。また平成 20 年度の事業化促進を図るための予算増額の見通しは。

町長 当路線は総事業費 9 億 8000 万円、延長 1480m、全幅員 7m で着手する計画の予定で、平成 19 年度まで全買

取面積の 37% を達成し、今年度では 70% 以上の用地取得を目指す。また予算においては、今年度は 1 億 5000 万円に増額していただけのもと思っている。

長谷川地内の 道路整備は

質問 道の駅「明恵ふるさと館」から尾岩坂トンネルまでの約 4km 区間、特に狭小区間の整備について、平成 19 年度は工事が実施されていないがどうなったのか。



国道480号 長谷川地内

町長 今年度はトンネル内舗装工事も実施され、20 年度では測量設計、

用地充買についても了解を得ているので、小規模道路改良事業を実施したい。

質問 仮称「長谷川ハイパス」約 400m の早期事業化を図るための町の取り組みは。

町長 現在、県と協議をしている段階である。事業が早く着手ができるよう、関係機関に要望し、取り組んでいく。

妙見池(吉原地内)の 安全対策は

質問 妙見池の東側、約 5200m が埋め立てられ、第 3 保育所の建設用地として計画されている。この部分については子どもの安全対策を検討されているが、町道吉原

平池線より平農道に入る西側は用地の造成により、保育園児や小学生が多く通行し、大変危険である。安全対策としてガードレール、またはフェ

ンスの設置を早急にとら

町長 指摘の安全対策については、要望もいただいている。造成地には保育所が、妙見池集落道は小学校への通学道路となり、農道についても子どもの安全対策が必要と考えるので検討したい。

質問 妙見池西側は、凌波により池が深くなる。6 月には貯水して元通りの池となり、危険になることからできるだけその時期までに安全対策を求める。

町長 できるだけ要望のとおり検討する。



妙見池埋立造成現場(吉原地内)



新町発足2周年経過の中で 今後の町づくりを問う

前 勢 利 夫

町民一人当たりの 所得額は

【質問】 地域格差を端的

に示す都道府県民一人当たりの所得額が内閣府発表によると全国平均304万3000円。1位は東京都の477万8000円、わが和歌山県は270万8000円で26位。有田川町の場合はどうか。

【町長】 227万9000円。地域格差は広がっており是正は最大の課題であり、国だけに頼るのではなく、自分自身も立ち向かい農林業・商工業者の振興育成、文化、観光、企業誘致等全力を尽くしたい。

新町における 財政構造指数は

【質問】 議案説明の中で

平成20年度末の地方債残高は245億198万5000円となる見通しだ。

夕張市は2007年

財政再建団体として、国の管理下で18年かけて353億円の赤字を解消する。この事実の上に総務省は2007年11月13日自治体破綻基準を定め、

現行の財政再建団体に代わり「財政再生団体」

「早期健全化団体」の2段階に分け再建するとし

「財政再生団体」は①実質公債費比率（公債費+公社等の債務）②実質赤字比率（一般会計に占める赤字の割合）③連結実質赤字比率（水道や国民健康保険など全会計を併せた赤字割合）、この3

指標のうち、一つでも基準を上回れば、自治体の自由裁量で財政運営が不可能となる。当町の数値を問う。

【町長】 実質公債費比率は再生ライン35%に対し18.1%。早期ライン25%に対し同じく18%である。実質赤字比率は、再生ラ

イン20%に対し1.6%。

早期ラインはマイナス13.4%。連結実質赤字比率は再生ライン30%に対し4.7%。早期ラインはマイナス18.4%である。

合併特例法による 財政支援指数は

【質問】 合併特例法によ

る地方交付税は10年間に限り、合併しなかった場合と同様に算定され、その後5年かけて縮減されるが、改めてこういう措置が講じられるか確認したい。

【町長】 必ず確保できる。

中期総合計画の 地方再生戦略(2007-2011)

【質問】 2007年から

2016年の10年間にわたり「きらめきひろがる有田川」長期総合計画が成立。基本構想に基づく基本計画が完成済みだが、財政の裏付けに伴う実施計画の作成はできて



いるのか。併せて2005年制定、実施されている「地方再生法」さらにこれを受けての2007年11月30日発表の「地域活性化統合本部」による「地方再生戦略」との一体化こそ、今後のまちづくりの基本となると思うがどうか。

【町長】 地方再生法に基づき、金屋地区は「元気あふれるまちづくり」、清水地区は「森づくりと体験の町」、吉備地区は「快適、やすらぎ安心安全のまちづくり」等に取り組んでいる。さらに長期実施計画の中に「地方再生戦略」を組み入れ、産業・教育・福祉等あらゆる分野の活性化を目指す。

各施策の取り組みを問う！



森 本 明

金屋庁舎をまた中心市街地の活性化

質問 合併合意の中で庁舎問題は10年以内に解決すると認識しているが、庁舎問題検討委員会を早く立ち上げて、老朽化が著しい金屋庁舎をどのようにするのか。また、鳥屋城小学校校跡地の利用はどのように考えているのか。

町長 庁舎問題検討特別委員会を本年4月中に立ち上げ、今のままの分庁方式が良いのか、1ヶ所に集めた総合庁舎が良いのか、委員会の意見を賜りながら、鳥屋城小学校跡地の利用方法も含め検討したい。

結婚相談所のなほ二層の活用

質問 少子化対策、遊休農地を作らないため、農業担い手の育成・確保のため農業者年金協会に

設けた「結婚相談所」の充実した取り組みの強化、現在の会員数はどうか。今後は相談室を別室に設置し、その道に通じた嘱託職員を置き、会員に働きかけを行うなど積極的な対応が必要ではないか。

町長 現在、男性33名、女性9名の会員があり、2組が交際中である。会員がもう少し増えれば、以前から交流のある高石市（大阪）に働きかけ、集団見合い等を考えたい。また、相談室の設置や嘱託職員については、現在担当してくれている農業委員さんともよく相談して、少子化対策、農業担い手育成に努めたい。

菖蒲谷池（中井原地区）の改修を早く

質問 県営ため池等整備事業で、中井原地区にある菖蒲谷池の整備をされたい。池の堤や樋が、長年の使用で非常に

脆弱で危険である。また池は集落の真上にあるため、町民の安全・安心を守れない。早く改修されたい。

町長 今年、町内3ヶ所の池の改修を県事業で行うことになっている。現場を見たところ、菖蒲谷池は深さもあり、大変危険に思う。地元と相談しながら、負担の少ない



堤が非常に高い菖蒲谷池



菖蒲谷池（中井原）

有利な事業で早い機会に整備をしていきたい。



有田川町のまちづくり計画のためにも

佐々木 裕 哲

定住人口の増加に向けて

質問 第1次有田川町長期総合計画が、昨年より10年計画でスタートしているが、推測では今後、約3千人も人口が減少するという。まちづくりの基本は人口問題だ。夕張市の財政破綻は、大型公共事業への投資が原因だが、大幅な人口減少もその要因のひとつである。

今後、地方が生き残るためには、産業振興・企業誘致・定住人口の誘致しかない。そこで提案として、他地域からわが町に定住してもらえるなら、特別に優遇できるような補助的なことをしてはどうか。人口が増えれば税収も増え、町民一人ひとりの負担が軽くなる。他市町村にはない魅力的なまちづくりを目指してはどうか。

町長 合併して、急激に人口が減少することを予想しておらず残念でない。町が栄えるには、若い世代の人口が増えることが重要で、そのために定住しやすく公共下水道も整備している。また、財政・税務面からいろいろと検討し、若者が定住してもらえるよう対応していく。

特急利用者への仮駐車場の設置を

質問 わが町の玄関口である新藤並駅が完成し、念願の特急が停車することとなった。行政・議会・経済クラブ等関係団体、地元住民が団結し、達成されたことは本当に喜ばしく、これも町長の努力の成果だ。しかし、駅はできたが駐車場整備がこれからでは遅い。今後は箕島・湯浅駅との競争だ。今すぐにでも仮駐車場を整備し、特急利用者への便宜を図るべきだ。



新しくなったJR藤並駅

町長 今後60台分くらいの駐車場を整備する予定である。特急利用者の無料駐車もJR側と協議をしている。海南・箕島・湯浅駅では駐車場を備えており、早急に対応する。

質問 町財政難の折、今回の資源ゴミ入札結果

今回のゴミ入札結果を振り返って

は、本当にありがたいことであるが、住民の声として、いまままで何だったのかと言われている。行政改革を進めていく上で、何事も綿密な計画を立てて実行されたい。マイナス12万円という入札は、資源の高騰によるところが大きい。町民のゴミに対する意識が高く、ゴミの保管・分別がきちんとなされているからこそだ。入札により、大きな予算が浮いてくるが、その分、福祉や未来ある子どもたちのため、有効に使ってはどうか。

町長 入札結果を受け、いまままで何だったのかとの思いがする。不要となった約6千万円（3年間分）は今後、基金として積み立てるか、また目的を持って使えるような方法を考える。

農業と観光は リンクしているのではないか



森 谷 信 哉



全国棚田100選に選ばれている「あらぎ島」(清水地内)

棚田サミット開催を

質問 有田川町には、

県下で唯一、全国棚田100選に選ばれている蘭島という棚田がある。現在は、保存会や地元の農家の方が守ってくれているが、今後清水地域の農業のあり方を考えると、高齢化により水田や畑の維持管理が難しくなってくると思う。和歌山大学の観光学部の方に協力依頼して、産・官・学の連携を取っ

て、全国棚田サミットの開催地として立候補してはどうか。

町長 私も全国棚田協

議会の理事をさせていた
だいており、理事会にも
参加をしている。サミッ
ト開催予定地は現在、
4年先まで申請されてい
る。サミット開催となれ
ば費用もかかるが、5年
後をめどに開催できるよ
うに、申請の方向で進め
ていきたい。

都市と田舎の 交流の場を

質問 有田川町ふるさ

と開発公社には、年間稼
働率が低いコテージやパ
ンガローがある。公社と
利用料金の交渉などをし
て、田舎暮らしの体験場
として利用できないか。
また、金屋・清水地域に
ある小学校などの廃校に
なった遊休地の利用活用
として、1市3町で運用
している湖光園や3町で



コテージ(清水地区)

運営しているなぎ園が老
朽化による立て替え移転
すると聞くが、当町とし
て積極的に立候補すべき
だと思う。

町長 団塊の世代の方

や、都会から田舎で住み
たいという要望にこたえ
るためにも、今後は考え
ていかなければならない
かもしれない。ただ、開
発公社と契約をしている
ので、今後は協議もしな
ければならないが、前向
きに取り組んでいきたい。
また、過疎地域の活性化

のためにも廃校舎などの
活用方法も考えたい。広
域施設の誘致についても、
今後は議会にも提案して
いきたい。

地元の課題は

質問 現在の各テレビ

難視聴地域の要望と、町
としての今後の取り組み
はどうか。

教育長 清水地域につ

いては、各地域とも光ブ
ロードバンド網の整備を
要望しており、要望に答
えるように整備していき
たい。ただ、町としても
整備に2年かかるので、
今後は、金屋と古備の難
視聴地域についても、早
急に地域の方々と相談し
て、対応していきたい。





行財政運営について

竹 本 和 泰

町財政の見直しはどうか

質問 平成20年度一般会計予算は、154億4千万円と膨大で、このため地方債借入額26億5500万円。また、特別会計の公共下水道事業会計予算15億1千万円のうち地方債8億4千万円あまりと借入金への依存度が極めて高く、このままでは数年で多額の借金が発生する。

現在、財政は黄信号の灯った状態であり、財政がより悪化しないよう町執行部が責任の持てる対応を望む。そこで、将来の実質公債費比率、經常収支比率、地方債残高の推移をどうみているのか。

町長 有田川町の標準財政規模は100億円弱であるが、昨年より地方債残高16億円減らすことができた。一般会計の

地方債残高は公債費負担適正化計画に基づき、発行額の抑制や政府資金等の繰上償還の積極的な実施により、平成24年度末での残高は221億円程度、実質公債費比率16.3%程度の見込み。また、經常収支比率98.5%と高い水準となる見込み。



下水道終末処理場工事現場(下津野地内)

財政健全化への対策は

質問 財政を圧迫してきているのは、大型事業

のウエイトが大きい。特に公共下水道事業は160億円を超える膨大な計画である。水質汚濁や生活環境面等から必要性は分かるが、最近の各家庭での浄化槽設置や加入負担金などにより経営できる加入率を確保できるのか疑問だ。

財政悪化により、住民サービスや福祉の後退等、町の行財政運営に大きな支障を及ぼさないよう、大型事業の内容等、見直しも含めた財政健全化への考えはどうか。

町長 平成18年度の決算で18%を超えた実質公債費比率を早急に改善するため、財政健全化計画を作成し、各主要な建設事業の年次計画を調整している。また、平成20年度に策定予定の長期総合実施計画においても、将来安定した財政状況を維持しながら充実した事業を実施をしていくよう調

整していく。

住民生活に配慮した行政運営を

質問 高齢者、障害者への支援策などきめ細かな福祉の充実や地域づくり等、住民生活に密着した行政運営に従来以上の視点を。

町長 高齢者施策として老人クラブの活動を通じて、趣味やスポーツなどへの支援、社会福祉協議会に委託してアイサービスや運動指導事業等を実施している。

また、一人暮らしの方々への安否の確認、安心システムの導入など実施している。財政的にも限りがあるが、できる限り住民一人ひとりがそれぞれの地域で安心して暮らしていけるまちづくりを目指したい。

住民一人ひとりの活力を高めることが 町全体の活性化につながります



浦 博 善

公民館活動の推進を

質問 緊縮財政の下で活力あるまちづくりを進めていくためには、住民の皆さま一人ひとりの活力を高めてもらうことが重要である。一人ひとりの活力が地域全体、町全体であると考え、そのための地域住民の交流や団結力を高める活動拠点と



公民館活動(陶芸教室)

の増進をはかるうえで非常に大切である。また地域文化の振興と、社会福祉の増進に寄与するものである。社会教育の推進をはかるた

しての、公民館活動をより活発に推進するべきでないか。

町長 公民館を通じて地域の方々が、様々な活動をされることは非常に大切であり、都会とちがう地方の良さだと思っ

めには、公民館活動は大切なことであると認識している。

町内には公民館14館と分館13館があり、各種教室や講座の開催、サークル活動の支援などをおこなっている。公民館の職員や主事さんにも研修等を受けてもらい、質の高い活動を続けてもらいたいと思っている。公民館活動の充実に向けて、今まで以上に積極的に取り組んでいく。

鳥屋城公民館の管理体制は

質問 鳥屋城公民館の管理体制が平成20年度から変わるが、不便になるのではないかと。鳥屋城公民館は金屋地区での中心的存在であり、広範囲の地域による活動拠点として利用されてきた。合併した現在においても、その位置付けは変わりな



鳥屋城公民館(金屋地区内)

く、様々な団体が活動拠点として利用している。管理体制が変わり不便になることで、活動が衰退しないか心配である。
町長 今まで企業に管理委託していたのを、他の公民館と同様の体制とした。鳥屋城公民館は非常に重要な施設であり、多くの方々が様々な活動をされていることを認識している。主事の補佐を設け、住民に不便をかけるような取り組んでいく。



しんせつ 土砂浚渫で有田川の防災対策を

尾上 武 男



有田川(田口地内)

有田川の浚渫は進んでいるか

質問 高速道路の関連で3万㎡の土砂を浚渫したが、その後進んでいない。県の計画はどのようになっているか。

吉備の大谷地区前より吉備堰までの間は雑木や雑草が生い茂っている。また土砂の堆積も多く水の流れを阻害している。出地区より小島地区まで

の5ヶ字の住民が有田川を枕に生活し大雨が降れば安心して眠れない。また田殿地区には新しい住宅が建てられ住民が生活している。

町長 昨年3万㎡の土砂を排出したが、わずかなものである。県が平成19年度から20年度にかけて低水護岸工事を行っている。それが終われば堤防の強化、浚渫を考えていると聞いている。今後地元県議員と協力して取り組んでいく。

原油高騰への緊急対策を

質問 昨今の原油高騰が住民生活を直撃している。住民税非課税世帯や障害者施設に対して燃料の補助をすべきである。また本町の主産物であるミカンの施設栽培やトマト、花卉園芸に大きな影響を及ぼしている。経営が維持できるよう必要な

資金や低利の融資を助成できないか。また原油の替わりに木材エネルギーを生かす取り組みを考えられないか。

町長 住民や障害者施設に対して今後、気象状況をみながら考えていく。またハウスミカンや施設園芸は、今の単価では採算が合わなくてやめられた農家があると聞いている。経営が維持できるために利子補給の制度があり、農林漁業セーフティネット資金1.3%や、県単独の融資生活営農資金が1.7%で借りられる。これを活用していただきたい。また木材エネルギーの使用は現在の施設では無理であり、今後検討していく。

今後も営農給水施設の維持を

質問 現在使用している営農給水施設は、プリペイドカード式の機器を



プリペイドカード式営農給水

使っている。この機器を扱っている業者が、この機器の扱いから撤退するため、利用している農家は大変不便をきたす。他の方法で続けられるよう求める。

町長 営農給水施設は、金屋地区で15カ所、吉備地区で2カ所あり、3、4年すれば耐用年数がかかるが、その後も使用できる。しかし、使えなくなれば考えていく。

子どもたちにゆったりとすごせる 学童施設を作ってあげたいネ



堀 江 眞 智 子

学童保育の充実

質問 現在、町内には

藤並、御霊、石垣、金屋と4ヶ所の学童保育があり、保護者や指導員さん、シルバーのみなさんの努力によって運営されている。その中でも藤並については20年度の学童希望者を含めると、70名を超える。今でもギユウギユウ詰めで雨の日などは大変で、なんとか施設を大きくして欲しいとの要望がある。住民福祉委員会でも説明を受けたが新しい施設を借りるに当たり、子どもたちの安全を第一に考え、耐震補強と設備の充実に十分な財政的援助を求め、御霊学童についても、今の施設では30人の子どもたちで施設が満員であり、今後学童が増えることも予測されるので施設の拡充を求める。石垣の学童

については、新設される第3保育所といっしょに学童保育の施設建設を求める保護者の願いが出されている。町内この子どもたちも同じような環境ですこせるような協力が必要ではないか。

町長 藤並については、保護者と相談して近くの民家を借りる方向で町としてもできるだけの支援をする。御霊については、今後保護者と早急に話し合いをし、どのようにしていくか考える。石垣については第3保育所の建設と併設できないか検討していく。

大切な子どもの命を守る保育士の確保

質問 現在、町内の保

育士の約半数が臨時の職員である。正職員と同じ責任のある仕事をしながらパート日給扱い。一年更新では人員の確保が難しいのではないかと。社会

保険や、雇用保険の有無についてもどうなっているのか。さらに正規の職員採用についてどのような考えを持っているのか。

町長 臨時職員の日給については6400円から6600円に値上げをする。社会保険、雇用保険については掛けている。臨時の保育士が多いといわれるのはその通りで、大事な子どもを預かるので来年度はなんとか正規の採用を考えたい。

すべての図書館の充実が大切

質問 図書館、図書

に専門性を持たず方針が教育委員会から出されていたが、その後方針はどくなったのか。子どもたちや高齢者の方ができるだけ自分の足で本を借りに行けるような場所に図書館・図書室があるのが望ましいと考える。

町長 教育委員会がい

ろいろ検討しているが、住民の声を聞き、今の体制を維持し、充実させていきたいと考えている。
教育長 町民の意見を充分に汲み取っていかなければならぬと考える。現在の仮構想は時期尚早の感があり、既存の図書館、室については従来通りの機能で充実を図っていききたい。

有田川町 図書館・図書室の状況

施設名	蔵書数	貸出冊数	開館日数
金屋図書館	26565	23815	262日
吉備会館図書室	13830	26259	167日
清水コミュニティーセンター図書室	23386	6465	202日

平成 18 年末現在



医療費抑制では町民の健康は守れない

増 谷 憲

国保税の引き上げの課題や後期高齢者医療制度の問題点は

質問 ①国保税の引き上げはしないようにしていただきたい。

②特定健診は受診率の向上だけが目標にならないか。

③受診率の目標が達成できないと補助金が減らされてその分は税負担につながるのではないか。

④75才以上の高齢者に資格証を出さないこと。また保険証を取り上げないよう国への働きかけを。

⑤後期高齢者医療制度の診療報酬は、必要な医療を受けられる内容でないと思うがどうか。

⑥後期高齢者医療制度の説明会を開いていただきたい。

町長 ①国保税を据え置くのは難しい。
②目標達成は難しい。
③町村会にも提案して国へ働きかけをしていきたい。

住民課長 ②受診率の向上もある。しかしメタボリック該当者の減少を目的としている。

④担当課としては国へ働きかけるのは難しい。

⑤まだ詳しく分からない。

⑥広報やチラシで周知している。説明会の要望があり、ある程度的人数があれば説明に行く。

道路維持費の中期計画

質問 ①道路中期計画案の59兆円をどのようにとらえているのか。

②33年間も道路特定財源の暫定税率が維持されながら有田川町管内の道路整備が進まないことをどうとらえているのか。

町長 ①考えられないような使い方も明らかに残り残念。

②33年間辛抱してやっと田舎へまわってきてこれからだという時だけに残

和歌山大学のサテライトの誘致を

質問 大学の高等教育を活用して地域のニーズに対応した、様々な高等教育や生涯学習、地域連携事業を行い、地域づくりや地域の活性化を行うのがサテライトである。この和歌山大学のサテライトを有田に誘致できないか。また廃校校舎の利用でどうか。

町長 大学の優秀な活力を入れて町の活性化をはかるというのはいいことだ。ただ有田川町だけでなく1市3町、あるいは日高郡も入れた中で今後検討したい。

契約のあり方

質問 ①一般会計予算の消耗品や備品購入費、食材関係で4億2千万円を超える。地元への発注率を引き上げ地元経済への

の対策を。
②塩化カルシウムやアスファルト道路の穴の補修に使う常温合材が有田振興局と有田川町もいっしょになって単価契約物品の共同契約をすることになったが、入札参加の周知が徹底されず、入札に参加できなかった業者もあると聞く。複数年度の契約になるとも聞く。これまで通りでいいのか。

町長 ①昨年の12月に各課長に消耗品や備品、食材について町内業者への発注率が20%と低いことを説明し、できるだけ町内業者から購入するよう要望している。

②有田全体ですると安く調達できる。今までの業者も参入できる。もし説明不足があれば業者の方にも説明をさせていただきたい。

職員のボランティア意識は



西 弘 義

ボランティア 活動の美徳は

質問 住民の声として「町長を先頭に、職員には住民サービスの提供を」と言われているが、ボランティア精神を養えているのかどうか。

町長 町長の指揮で、住民に対するサービスの向上、つまりはボランティア活動に参加するように言葉を発してみてもどうか。

町長 有田川一斉清掃等の時には、職員のほとんどが参加するように指導している。公僕につくものとして、住民へのサービスはもちろん、ボランティア精神を持ち、活動に率先して参加しなければならぬ。今後課長等に指示し、再度全職員に傳達する。

質問 町長が率先しなければ職員は動かず、各地域間でのボランティア

活動の輪が取れない。現場の声として、「合併当時より、ボランティアをしてくれる人数が少なくなったよ」と聞くと、有田川一斉清掃のような全員参加でなく、ボランティアには各種の活動があるので、自発的に各自ができる範囲内での参加を求める。



公民館でのボランティア活動

町長 私が率先して、参加すれば職員も参加してくれると思う。今後、ボランティア活動の会があれば、情報提供をしていただき各種の活動に参加できるように職員とともに計りたい。

職員採用に 地域バランスを

質問 この質問には防災にも関わりがある。有事の時には消防があるが、地震や水害等の大規模災害時には、消防署だけでは対応しきれない。また、被害状況を早期に把握する必要があり、役場と災害場所との連絡を結ぶため

にも、各地域

に職員を配置する必要があると思うが。

町長 職員採用には世間の目が厳しく、判断基準は学力優先になる。下位の方を採用すれば採用の方法に問題があるのではないかと言われる。できるだけ今後は、地域間バランスを考え、職員採用に対応していく。

質問 学力重視も必要だが、二次面接にはボランティア意識があるのかどうか、住民にサービスをできるのかを精査して、地域間バランスをとってどうか。

町長 職員採用試験の二次面接では、いろいろな分野で質問を出しているが、今後ボランティア活動も職員の住民へのサービスを提供する点で大変大事な問題であるので、特に重きを置いて対応していく。

3常任委員会合同研修レポート

限界集落の取り組みを聞く



綾部市老富町での研修

去る3月25日、26日の両日に亘り、総務文教・産業建設・住民福祉の3常任委員会合同で、視察研修を行った。今回の目的は、限界集落への取り組み、観光と住民との共存、森林整備についての研究のため先進地である京都府綾部市と南丹市、京都市北区に赴いた。

綾部市では老富町の限界集落の現地を視察し、取り組みを伺った。195自治会のうち39の自治会が限界集落であり、市は他県に先駆け、定住促進・地

域活性・自然環境保護等に努めるため、限界集落を「水源の里」と称して条例を制定した。定住促進のために住宅整備の補助(150万円を上限の補助率1/2)や、定住支援金給付(5万円/月の1年間を限度)、地域振興策として特産品の開発や産業の育成、また都市との交流事業やインフラ整備等に取り組んでいる。

有田川町においては、23ヶ所の限界集落が存在し、そのうち数ヶ所の集落はあと十数年で消滅の危機に瀕している。今後、綾部市の取り組みを参考に早期の対策を講じることが課題である。



「水源の里」を視察(老富町)

各常任委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

産業建設常任委員会(9)	住民福祉常任委員会(9)	総務文教常任委員会(8)	議会運営委員会(6)
○◎ 亀大竹楠林殿細岡浦 井岡本部井東	○◎ 中中西坂佐橋堀東横 山面上々瓜江畑 東木眞	○◎ 森新湊前田増尾森 谷家勢中谷上本	○◎ 浦橋森尾東岡 畑本上
次憲和重道 正省博 男治泰計種亮明吾善	正弘洋裕弘智武龍 進門義士哲典子史彦	信正利良武 哉弘剛夫知憲男明	博龍武武省 善彦明男史吾



松本 千怜さん(鳥屋城小学校6年生)の作品

求む!

議会広報編集特別委員会
構成メンバー


○増谷 憲	○西弘 義
○堀江 眞智子	○東武史
○岡省吾	○浦博
○森谷 哉	○信哉

代表委員 増谷 憲
事務局長 堀江 眞智子

広報委員会では、議会広報誌「かわら版」の表紙を飾る写真・イラスト等を、町民みなさんから募らせていただいております。

有田川町の名所や風景などお気軽にご応募下さい。尚、勝手ながらお寄せいただいた作品は返却できませんのでご理解下さい。みなさんからのご意見、ご感想等もお待ちしています。

くわしくは事務局まで。



編集後記

3月議会が終わり、やっと桜の春が来たと思ったら、この議会がよみがみなさんのお手元にとどく頃には、そろそろいい気候というのも終わり、暑くなってきた頃だと思ふ。

4月からは75才以上の高齢者のみなさんは、後期高齢者医療の保険料が、年金から天引きされるようになった。

高齢者の方々の負担が少なく、安心・安全に暮らせる世の中になるよう願うばかりである。

道路整備も必要だが、高齢者に優しい国づくりを推進することが今後の重要な課題ではないだろうか。

(堀江眞智子)

お問い合わせ
☎521-2111
吉備庁舎4階
議会事務局まで